

早稲田西洋史シンポジウム

Part1

「中世～近現代における 有機体的メタファーと国家」

日時

2019年7月13日(土) 13:30～18:00

会場

戸山キャンパス 33号館 3階 331教室

講演者

ヴァシリオス・シロス(ユヴァスキュラ大学 准教授)

中澤 達哉(早稲田大学 教授)

バラージュ・トレンチャーニ(中央ヨーロッパ大学 教授)

オクサナ・サルキソヴァー(中央ヨーロッパ大学 准教授)

コメンター

阿南 大(東洋学園大学 兼任講師)

使用言語

英語

中世ヨーロッパの教皇・教会の有機体論的理解は世俗に転用される過程でさまざまな解釈を生み出した。近世後期から近現代には近代国民形成との密接な相互依存の関係をとることになる。本シンポでは、中世から現代という広いタイムスパンのなかで、有機体論的メタファーを再考する。

§ プログラム §

- | | |
|-------------|--|
| 13:30～13:40 | 開会挨拶(甚野尚志) |
| 13:40～14:10 | 講演「キリスト教及びイスラム教の伝統における有機体的メタファーと社会的調和」(ヴァシリオス・シロス) |
| 14:10～14:50 | 講演「『聖王冠の四肢』としてのスロヴァキア国民：近代国民形成と有機体的メタファーの援用」(中澤達哉) |
| 14:50～15:00 | 休憩 |
| 15:00～16:00 | 講演「戦間期南東欧における有機体論・バイオポリティクス・集団的アイデンティティ」(バラージュ・トレンチャーニ) |
| 16:00～17:00 | 講演「新たなエスニック的身体の鑄造：ソヴィエト文化映画における有機体論的視覚レトリック」(オクサナ・サルキソヴァー) |
| 17:00～17:30 | コメント(阿南大) |
| 17:30～18:00 | 討論 |

*共催：科学研究費基盤研究(B)「中近世キリスト教世界における宗教と暴力対立と和解のポリティクス」(研究代表：甚野尚志)、科学研究費基盤研究(B)「ジャコバン主義の再検討—「王のいる共和政」の国際比較研究」(研究代表：中澤達哉)

主催・問合せ



WIAS

早稲田大学 高等研究所

入場無料・事前申込不要 直接会場にお越しください。